



たか
えいこう
かみ
いと高きところには栄光、神にあれ、
ち
へいわ
みこころ
かな
ひと
地には平和、御心に適う人にあれ。

日本聖書協会「新共同訳 新約聖書」ルカによる福音書2章14節

写真(撮影:金子由佳 / カリタスジャパン)

We are Caritas 20号は、クリスマス特集号となります。

内面には「カリタスジャパン アドベントツリー」として、本年度のカリタスジャパンの活動に関連する写真を飾ったクリスマスツリーを縦型に配置しています。ツリーは、アドベントカレンダー形式(12月1~24日まで)となっており、ツリーの下には、それらの写真やオーナメントの説明、祈り、当日の福音の箇所を記載した表を掲載しておりますので、ご活用ください。

「Scar of Bethlehem(ベツレヘムの傷跡)」by Banksy



イギリスを拠点に活動する匿名の芸術家Banksy(バンクシー)の作品。本作品は、イエス誕生の地であるパレスチナ自治区ベツレヘムのTHE WALLED OFF HOTEL(壁で遮断されたホテルの意)に展示されている。このホテルは、聖誕教会から2キロ離れた分離壁の正面にある。追跡により撃ち抜かれた星形の穴を表現したブロック塀を背にキリストの生誕が描かれている。パレスチナ自治区の街ベツレヘムには、バンクシーの作品が他にも多数存在する。

祈りましょう:
広島市にある災害時の救援活動を行う団体が、近隣の子どもたちに無料でお好み焼きを配布しました。これまで子どもたちに給食を食べましたが、新型コロナバーゲン感染症拡大から学校が閉鎖となり、一人で家に居る子どもが多くなりました。子どもたちは、食堂の中でも活動を止めたり、緊急の取り組みとしてお好み焼きの配布を実施。近くの人たちもランティアで参加しました。



写真:お好み焼きを調理しているところ(広島) 図マタ1-28-32

祈りましょう:
アマゾン熱帯雨林地域における森林火災は、焼畑の跡での放牧や新しい烟を作ることによる経済活動、土地開発など人の行為的な要因によるものです。こうした行為的森林火災は2020年7月時点で800件以上あります。しかし、地球の温暖化により、森林火事をかけています。人が森を燃やさなければ生きが成り立たない社会構造の見直しや、それを規制するための法整備が強く求められています。



写真:ノボ・エアーナチュラルズ(アマゾン・フルシル)
©Caritas Internationalis 図マタ1-21-27

祈りましょう:
父である神よ、私たちが被造物の責任ある管理者となり、木々や水、先祖から受け継いだすべての自然資源を守り、次世代に引き継ぐことができるように、私たちのための祈りより、
「すべてのいのちを守るために」の間・日・毎日の祈りより、
写真:9歳の先生民族の子供達の風(アマゾン・フルシル)
©Caritas Internationalis 図マタ1-5-9,19-28



写真:オランダ長年の様子(東京)
©Caritas Internationalis 図マタ1-21-5-25

祈りましょう:
子どもたちに無料でお好み焼きを配布しました。これまで子どもたちに給食を食べましたが、新型コロナバーゲン感染症拡大から学校が閉鎖となり、一人で家に居る子どもたちが多くなりました。子どもたちは、食堂の中でも活動を止めたり、緊急の取り組みとしてお好み焼きを配布しました。



写真:お好み焼きを調理しているところ(広島) 図マタ1-18-24

祈りましょう:
このオーナメントに色を塗りましょう
オーナメント・Share the Journey(排除ZEROキャンペーン)
ロゴマーク
監修:CARITAS JAPAN
このオーナメントは、いつも深く人間愛とともに「移住者」について語り、言葉と共に行動を示してくださいます。「Share the Journey」とともに旅をしようとも名付けられた難民の国際的なチャレンジです。難民の国際的なチャレンジは日本では排除ZEROチャレンジとして、2017年から2019年にかけて展開されました。



写真: ©金子由佳 / カリタスジャパン
©Caritas Internationalis 国マタ1-11-17

祈りましょう:
近隣に住む外国籍の子どもたちへの日本語学習などの支援を行って、このアカデミーでは、子どもたちが定期的に新型コロナウイルス感染症の影響を受け対面での学習が難しくなったため、パソコンやWi-Fi機器を準備し、オンラインで学習支援を継続しています。
写真:オンライン授業の様子(東京)
©Caritas Internationalis 国マタ1-8b-21



写真:オンライン授業の様子(東京)
©Caritas Internationalis 国マタ1-8b-21

祈りましょう:
父である神よ、教会が恵まれない地域の人々と共に歩むことによって、平等と正義を推進するしとなることができるようになります。そして、聖義と正義の働き手があらわす社会的圧力から守られ、誠実に務めを果たすことができるようになります。すべてのいのちを守るために月間・日毎の祈りより、
写真:乗っ張る雨舟(アフリカの舟)は、昨年、武装勢力に襲撃、放火されてしまった。カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。皆様のご協力に感謝いたします。今後も皆様とともに歩んでまいりたいと思います。
*カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。
写真:ルカガル・ルカガル・ルカガル・ルカガル
©Caritas Internationalis 国マタ1-57-66



写真:乗っ張る雨舟(アフリカの舟)は、昨年、武装勢力に襲撃、放火されてしまった。カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。
*カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。
写真:ルカガル・ルカガル・ルカガル・ルカガル
©Caritas Internationalis 国マタ1-57-66

祈りましょう:
父よ、あなたは、最も幼い仔イエスとその母を危険と悪の脅威から守るよう、聖ヨセフに託されました。わたしたちが信ずる苦しみを知つておられる聖ヨセフが、戦争や貧困のために、家も故郷も捨てて安全なところを目指している兄弟姉妹をめ、助けてくださいますように。聖ヨセフの熱烈成しによって、前進する力、悲しみへの慰め、試練に於ける勇気を彼らに与え、支えてください。2020年世界難民移住運動の日・教皇メッセージより
写真:聖ヨセフ像を2つのかわいいヨハネ・難民キャンプ/ハンガラデッシュ
©Caritas Internationalis 国マタ1-5-25



写真:聖ヨセフ像を2つのかわいいヨハネ・難民キャンプ/ハンガラデッシュ
©Caritas Internationalis 国マタ1-5-25

祈りましょう:
今も軍事封鎖の続くバレスチナ・ガザ地区に住むオム・ムハンマド(24歳)は3人の息子を持つ母親です。一番下の息子アフマド(3歳)は、カリタスからの支援で深刻な栄養失調から脳もしまじた5歳以下の子どものためのハースセントしか十分な栄養をうまく摂取できない状況で、父アフマドは、娘のための食料を買うこともできませんでした。また、ここ数ヶ月はコロナ禍者が急増し、脆弱な現地の医療体制は崩壊寸前です。



写真:カリタスジャパン Flickr (flickr.com/caritasjapan)の「2020年We are Caritas 12月号」にて原寸大でご覧いただけます。◎「すべてのいのちを守るために」の日本語訳は、カトリック東京大司教区広報によるものです。

祈りましょう:
これらの写真は、カリタスジャパン・ハングリー [flickr.com/caritasjapan] (ウェブサイト) の「2020年We are Caritas 12月号」にて原寸大でご覧いただけます。◎「すべてのいのちを守るために」の日本語訳は、カトリック東京大司教区広報によるものです。



写真:カリタスジャパン Flickr (flickr.com/caritasjapan)の「2020年We are Caritas 12月号」にて原寸大でご覧いただけます。◎「すべてのいのちを守るために」の日本語訳は、カトリック東京大司教区広報によるものです。

祈りましょう:
13 DECIMALS
アマゾン熱帯雨林地域における森林火災は、焼畑の跡での放牧や新しい煙を作ることによる経済活動、土地開発など人の行為的な要因によるものです。こうした行為的森林火災は2020年7月時点で800件以上あります。しかし、地球の温暖化により、森林火事をかけています。人が森を燃やすなければ生きが成り立たない社会構造の見直しや、それを規制するための法整備が強く求められています。



写真:ノボ・エアーナチュラルズ(アマゾン・フルシル)
©Caritas Internationalis 国マタ1-21-27

祈りましょう:
父である神よ、私たちが被造物の責任ある管理者となり、木々や水、先祖から受け継いだすべての自然資源を守り、次世代に引き継ぐことができるように、私たちのための祈りより、「すべてのいのちを守るために」の間・日・毎日の祈りより、
写真:9歳の先生民族の子供達の風(アマゾン・フルシル)
©Caritas Internationalis 国マタ1-5-9,19-28



写真:オランダ長年の様子(東京)
©Caritas Internationalis 国マタ1-21-5-25

祈りましょう:
14 DECIMALS
アマゾン熱帯雨林地域における森林火災は、焼畑の跡での放牧や新しい煙を作ることによる経済活動、土地開発など人の行為的な要因によるものです。こうした行為的森林火災は2020年7月時点で800件以上あります。しかし、地球の温暖化により、森林火事をかけています。人が森を燃やすなければ生きが成り立たない社会構造の見直しや、それを規制するための法整備が強く求められています。



写真: ©金子由佳 / カリタスジャパン
©Caritas Internationalis 国マタ1-21-27

祈りましょう:
15 DECIMALS
イスラエルが建設する高さ8mの分離壁は、現在ヨルカスト(建物予定地)をへるC7kmに亘り、西岸に4.6kmに亘り、内陸に32の村や町を分断しています。また、そのうちの85%が停戦ラインを越えてイスラエル側にいる人々に住むために、パレスチナ被爆者支援団体ではこれまで運営してきました。新設された分離壁には、無人ヘリコプターによる分離壁の経路が描かれています。



写真: ©金子由佳 / カリタスジャパン
©Caritas Internationalis 国マタ1-21-28-32

祈りましょう:
16 DECIMALS
近隣に住む外国籍の子どもたちへの日本語学習などの支援を行ってきて、ボランティアアカデミーでは、子どもたちが定期的に新型コロナウイルス感染症の影響を受け対面での学習が難しくなったため、パソコンやWi-Fi機器を準備し、オンラインで学習支援を継続しています。



写真:オンライン授業の様子(東京)
©Caritas Internationalis 国マタ1-8b-21

祈りましょう:
17 DECIMALS
このオーナメントに色を塗りましょう
オーナメント・Share the Journey(排除ZEROキャンペーン)
ロゴマーク
監修:CARITAS JAPAN
このオーナメントは、いつも深く人間愛とともに「移住者」について語り、言葉と共に行動を示してくださいます。「Share the Journey」とともに旅をしようとも名付けられた難民の国際的なチャレンジです。難民の国際的なチャレンジは日本では排除ZEROチャレンジとして、2017年から2019年にかけて展開されました。



写真: ©金子由佳 / カリタスジャパン
©Caritas Internationalis 国マタ1-11-17

祈りましょう:
18 DECIMALS
イスラエルが建設する高さ8mの分離壁は、現在ヨルカスト(建物予定地)をへるC7kmに亘り、西岸に4.6kmに亘り、内陸に32の村や町を分断しています。また、そのうちの85%が停戦ラインを越えてイスラエル側にいる人々に住むために、パレスチナ被爆者支援団体ではこれまで運営してきました。新設された分離壁には、無人ヘリコプターによる分離壁の経路が描かれています。



写真: ©金子由佳 / カリタスジャパン
©Caritas Internationalis 国マタ1-21-18-24

祈りましょう:
19 DECIMALS
祈りましょう:
父である神よ、教会が恵まれない地域の人々と共に歩むことによって、平等と正義を推進するしとなることができるようになります。そして、聖義と正義の働き手があらわす社会的圧力から守られ、誠実に務めを果たすことによって、アーメン。聖マルティニアでは、「すべてのいのちを守るために」の祈りより、
写真:乗っ張る雨舟(アフリカの舟)は、昨年、武装勢力に襲撃、放火されてしまった。カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。皆様のご協力に感謝いたします。今後も皆様とともに歩んでまいりたいと思います。
*カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。
写真:ルカガル・ルカガル・ルカガル・ルカガル
©Caritas Internationalis 国マタ1-57-66



写真:乗っ張る雨舟(アフリカの舟)は、昨年、武装勢力に襲撃、放火されてしまった。カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。
*カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。
写真:ルカガル・ルカガル・ルカガル・ルカガル
©Caritas Internationalis 国マタ1-57-66

祈りましょう:
20 DECIMALS
祈りましょう:
父である神よ、教会が恵まれない地域の人々と共に歩むことによって、平等と正義を推進するしとなることができるようになります。そして、聖義と正義の働き手があらわす社会的圧力から守られ、誠実に務めを果たすことによって、アーメン。聖マルティニアでは、「すべてのいのちを守るために」の祈りより、
写真:乗っ張る雨舟(アフリカの舟)は、昨年、武装勢力に襲撃、放火されてしまった。カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。皆様のご協力に感謝いたします。今後も皆様とともに歩んでまいりたいと思います。
*カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。
写真:ルカガル・ルカガル・ルカガル・ルカガル
©Caritas Internationalis 国マタ1-57-66



写真:乗っ張る雨舟(アフリカの舟)は、昨年、武装勢力に襲撃、放火されてしまった。カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。
*カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。
写真:ルカガル・ルカガル・ルカガル・ルカガル
©Caritas Internationalis 国マタ1-57-66

祈りましょう:
21 DECIMALS
祈りましょう:
父である神よ、教会が恵まれない地域の人々と共に歩むことによって、平等と正義を推進するしとなることができるようになります。そして、聖義と正義の働き手があらわす社会的圧力から守られ、誠実に務めを果たすことによって、アーメン。聖マルティニアでは、「すべてのいのちを守るために」の祈りより、
写真:乗っ張る雨舟(アフリカの舟)は、昨年、武装勢力に襲撃、放火されてしまった。カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。皆様のご協力に感謝いたします。今後も皆様とともに歩んでまいりたいと思います。
*カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。
写真:ルカガル・ルカガル・ルカガル・ルカガル
©Caritas Internationalis 国マタ1-57-66



写真:乗っ張る雨舟(アフリカの舟)は、昨年、武装勢力に襲撃、放火されてしまった。カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。
*カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。
写真:ルカガル・ルカガル・ルカガル・ルカガル
©Caritas Internationalis 国マタ1-57-66

祈りましょう:
22 DECIMALS
祈りましょう:
父である神よ、教会が恵まれない地域の人々と共に歩むことによって、平等と正義を推進するしとなることができるようになります。そして、聖義と正義の働き手があらわす社会的圧力から守られ、誠実に務めを果たすことによって、アーメン。聖マルティニアでは、「すべてのいのちを守るために」の祈りより、
写真:乗っ張る雨舟(アフリカの舟)は、昨年、武装勢力に襲撃、放火されてしまった。カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。皆様のご協力に感謝いたします。今後も皆様とともに歩んでまいりたいと思います。
*カリタスジャパンは2020年1月29日で設立50周年を迎えました。
写真:ルカガル・ルカガル・ルカガル・ルカガル
©Caritas Internationalis 国マタ1-57-66





それぞれの日にちに示された写真やオーナメントの説明、祈り、当日の福音の箇所を下の表に示しています。
ともに救い主イエス・キリストの誕生を待ち望みながら、一日一日を祈りのうちに過ごせますように。

カリタスジャパン アドベントツリー

Caritas Japan

<p>1 DECEMBER カリタスジャパンのオーナメントに色を差しめましょう ©Caritas Internationalis 圖マタ11-1-1</p>	<p>2 DECEMBER ギリシャのアグス島は、中東からの難民が欧洲に渡るために入り口に位置するため、多いときでは日々1,500人もの難民が押し寄せます。人口密度が急激に高まり、人々のストレスはピークに達しています。9月にはキャンプ内で火災が発生し、1万2千人の難民がキャンプから追い出されました。避難先での度重なる災難、未来の見えないレスボス島での難民生活は今も続いています。 ©Caritas Internationalis 圖マタ10-21-24</p>	<p>3 DECEMBER ナザレ(7歳)は、アフガニスタンのナザレンの村に住む6千人以上の死傷者を出した。「はじめは何も聞こえなかった。その後、人々の叫び声が聞こえたのだ。」(ハラ(7歳))は自分の胸にけがを負いたがらも爆発直後のことを話してくれました。現地では食糧の配布やシェルターの確保、また滞している子どもたちへの教育支援がなされています。 ©Stefanie Ginski for Catholic Relief Services 圖マタ15-29-37</p>	<p>4 DECEMBER アーババ(7歳)は、アフガニスタンのナザレンの村に住む世界でも有数の最貧国の一です。恒常的に水や電力が不足し、不安定な情勢によって、毎年多くの子どもが亡くなっています。カリタスから新型コロナ感染症予防のための手洗い用の水が届けられました。 ©Caroline Ginski for Catholic Relief Services 圖マタ16-15-20</p>
<p>5 DECEMBER ジエリアンは、カリタスの支援でガラバ出血熱のためワクチンを接種することができます。コンゴ民主共和国ではこれまで3,500人以上がこの病気により、2,300人以上が命を落としています。問題の背景には、内戦による荒廃や、公衆衛生教育の遅れ、脆弱な医療体制が挙げられます。また同国では、麻疹やコロナの感染も猛威を振っており、更なる危機が懸念されています。 ©Caritas Internationalis 圖マタ19-35-10-1, 5a, 6-8</p>	<p>6 DECEMBER ジエリアンは、カリタスの支援でガラバ出血熱のためワクチンを接種することができます。コンゴ民主共和国ではこれまで3,500人以上がこの病気により、2,300人以上が命を落としています。問題の背景には、内戦による荒廃や、公衆衛生教育の遅れ、脆弱な医療体制が挙げられます。また同国では、麻疹やコロナの感染も猛威を振っており、更なる危機が懸念されています。 ©Caritas Internationalis 圖マタ19-35-10-1, 5a, 6-8</p>	<p>7 DECEMBER ベネズエラのトムソン・エラーニーの意ネイシェールは、深刻な栄養失調でカリタスの栄養改善を受けています。最も人道不安であらゆる生活基盤が崩壊しているベネズエラからは、既に300万人の難民が発生していますが、海外に逃れることでできない人々は、毎月200円にも満たない收入で生活を送っています。この金額は、必要な食糧を買えるためだけではありません。 ©Caritas Internationalis 圖マタ19-27-31</p>	<p>8 DECEMBER ミャンマーのカチン州パラナチャップでは、カリタスの支援により食糧や飲料水の提供、薬品の配布、就業訓練などを通じて、人財育成の奨励、被虐者を保護する活動を行っています。世界では、性的搾取の対象や、強制的に子どもを産ませるために道具として、あるいは労働として見られる被虐者は、多くあります。 ©Patrick Niedner for Caritas 圖マタ1-1-1, 26-38</p>
<p>9 DECEMBER ベネズエラのトムソン・エラーニーの意ネイシェールは、深刻な栄養失調でカリタスの栄養改善を受けています。最も人道不安であらゆる生活基盤が崩壊しているベネズエラからは、既に300万人の難民が発生していますが、海外に逃れることでできない人々は、毎月200円にも満たない收入で生活を送っています。この金額は、必要な食糧を買えるためだけではありません。 ©Caritas Internationalis 圖マタ19-27-31</p>	<p>10 DECEMBER 5月に発生したサハリコン・アンファンの影響で、インドヤバングラデシュでは65万8千人が避難しました。カリタスでは大洪水に飲料水や公衆衛生のためのキットの配布などを行っています。しかし、こうした熱帯低気圧の被害は年々増え、その規模も大きくなっています。日本でも大規模災害が多発するようになりました。 ©Amit Rudro for Catholic Relief Services 圖マタ5-17-26</p>	<p>11 DECEMBER 5月に発生したサハリコン・アンファンの影響で、インドヤバングラデシュでは65万8千人が避難しました。カリタスでは大洪水に飲料水や公衆衛生のためのキットの配布などを行っています。しかし、こうした熱帯低気圧の被害は年々増え、その規模も大きくなっています。日本でも大規模災害が多発するようになりました。 ©Maggie Andersen for Catholic Relief Services 圖マタ11-11-15</p>	<p>12 DECEMBER パトリシア(43歳)はルワンダで八百屋を営んでいました。しかし新型コロナ感染症対策のためのロックダウンで仕事を見失い、まだ日雇い労働者であった彼女の夫も仕事を失ったため、生活できなくなっていました。「彼女がための病院と日々の食事代に消耗しました。」カリタスではパトリシアのような失職した人たちへの支援を開始しました。 ©Caroline Bremen/Caritas Internationalis 圖マタ11-1-19</p>
<p>13 DECEMBER あらん、誰の傘？ 日本洋参連携議会によると、年間日本で販売される傘は1億2千万本前後を推移しているそうです。日本の人口と同数の傘が売られる、その多くがニール傘と言われています。一方で、警戒用遮光用具取扱状況によると、昨年だけ緑の忘れ物が5万本近くに上る中、探し主はわずか3%しかいません。結果的に持ち主を失った傘は廃棄処分となります。 ©マタ11-10-13</p>	<p>14 DECEMBER 祈りましょう： 父である神よ、様々な理由で水を得るために日々苦労して生きる人々に救いの手を差し伸べてください。彼らを強め、人生のあらゆる苦難に立ち向かう意志をお与えください。 「すべての人の力を守るために月間 日毎の祈りより方舟：カリタスの船水タク（ハサカ）」(マルコ書16:19-20) ©Caritas Internationalis 圖マタ11-1-18</p>	<p>15 DECEMBER 祈りましょう： 父である神よ、日々の内難により神の光が亮ほんに輝いています。アフガニスタンは長年の内難により、人々の安全でも最も多くの犠牲者を出しています。毎年多くの子どもが亡くなっています。新型コロナウイルスによる「手洗い用の水が届けられました」(マルコ書11-20)</p>	<p>16 DECEMBER 祈りましょう： 父である神よ、苦しみ、困難に直面しているすべての人々のために祈ります。彼らに人生の困難に立ち向かう力を与え、彼らを勇き、守ってくださいますように。「すべての人の力を守るために月間 日毎の祈りより方舟：カリタスによる被虐者／キャンペーン」(マルコ書11-15)</p>